

#### 4 衛生費 1 保健衛生費 1 保健衛生総務費

##### ② 保健衛生事務費（健康推進課）

###### 1 公衆衛生業務のための体制整備等

- (1) 保健師、栄養士活動に必要な各種研究会、研修会に参加した。
- (2) 各種予防接種や健診等のデータ管理のための健康生活支援システムを運用した。

###### 2 各種保健予防事業を遂行するに当たり、乙訓2市1町及び(一社)乙訓医師会、乙訓保健所等で構成する各種会議を開催した。(事務局当番として、会議運営を行う。)

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会 3回

乙訓2市1町と(一社)乙訓医師会保健・医療・福祉(介護)協議会特定健康診査等小委員会 3回

乙訓保健予防行政事務協議会 8回

乙訓保健事業運営委員会 9回

###### 3 「向日市食育推進計画」に基づき、各種取組を行った。

- (1) 歯のひろばで「食育コーナー」を設け、啓発活動を行った。
- (2) 乳幼児健診、離乳食教室、プレママクッキング、健康相談等で、栄養指導・相談を行った。

###### 4 平成24年10月に京都府立医科大学、オムロンヘルスケア株式会社と三者で締結した、産学公による「市民の健康づくりに関する協定」に基づく事業を実施した。

(1) 向日市民健康づくり会議の開催 1回

(2) 向日市ひまわり栄誉賞表賞式&市民健康講座

テーマ：健康を創る～からだの中からアンチエイジング～

参加者数： 323 人

(3) 向日市健康ウォーク

長岡京遷都1230年・平安京遷都1220年記念事業として、京都市と協働して実施した。

参加者数： 311 人

###### 5 台風11号による水害後の家屋消毒を行った。

実施日数： 4日間

消毒家屋数： 13件

##### ③ 地域医療対策費（健康推進課）

乙訓休日応急診療所運営事業、在宅外科当番医制事業及び病院群輪番制病院運営事業により、休日及び救急時の医療を確保し、市民が安心できる医療体制の整備を図った。

###### 1 乙訓休日応急診療所利用状況

(単位：人、%)

診療日数 71日	合計	年齢別内訳			病類別内訳				居住地別内訳				
		0～5歳	6～15歳	16歳以上	呼吸器	消化器	循環器	その他	向日市	長岡京市	大山崎町	京都市	その他
患者数	5,376	1,964	1,214	2,198	3,965	922	16	473	1,248	2,588	385	904	251
構成比	100.0	36.5	22.6	40.9	73.7	17.2	0.3	8.8	23.2	48.1	7.2	16.8	4.7

2 在宅外科当番医制事業利用状況

(単位：人)

診療 日数	外科受 診者数	年 齢 別 内 訳				住 所 別 内 訳			二次後送 の 人 数
		0～ 6歳	7～ 15歳	16～ 64歳	65歳 以上	向日市	長岡京市	大山崎町	
71日									
患者数	318	53	49	133	83	99	192	27	6
1日平均	4.5	0.7	0.7	1.9	1.2	1.4	2.7	0.4	-

実施医療機関実数：28施設（診療所23、病院5）

実施医療機関延べ数：71施設（診療所24、病院47）

3 病院群輪番制病院運営事業利用状況

(単位：人)

居住地区分	入 院					入 院 合 計	外 来					外 来 合 計	総 計	
	内 科	小児科	外科	脳外科	その他		内 科	小児科	外科	脳外科	その他			
乙 訓	向日市	17	9	11	2	5	44	47	112	40	3	15	217	261
	長岡京市	15	14	5	2	7	43	105	161	65	2	55	388	431
	大山崎町	4	2	0	2	2	10	12	23	6	0	9	50	60
京 都 市	431	152	130	55	90	858	1,711	1,837	1,028	58	336	4,970	5,828	
そ の 他	70	11	10	16	20	127	232	164	152	19	66	633	760	

4 地域医療関係事業

乙訓地域における救急医療を啓発・推進するために、乙訓2市1町、(一社)乙訓医師会、乙訓消防組合、乙訓保健所等が共催で、毎年事業を行っている。平成元年度からは、テーマを決めて講演会を行っている。

(1) 救急医療関係事業（乙訓救急フェア）

内容：講演「乙訓地域の要介護高齢者の病態」

AEDを使った救急蘇生の実技 など

参加者数： 83人

(2) 救急医療懇話会

前述機関に加えて、乙訓地域で救急患者を受け入れる病院の代表者も加わり、乙訓地域における救急医療の情報交換、DNARに関する意見交換などを行った。

④ 献血推進対策費（健康推進課）

市内8会場において、献血運動を行った。

実施日数	来所者数	採血者数	200ml 献 血	400ml 献 血
16日	691人	564人	18人	546人

⑤ 保健センター等管理運営費（健康推進課）

保健センター（昭和58年度開設）の運営に伴う維持管理に要する経費を執行した。

保健センターは、平成14年10月から子育てセンター「すこやか」と家庭児童相談室、更に平成15年度からファミリーサポートセンターが併設され、健康推進課と合わせて4部門が共用する多機能施設となっている。

	成人保健関係	母子保健関係	子育てセンター	ファミリーサポートセンター	家庭児童相談室
事業開催回数	124 回	261 回	18 回	15 回	
延べ参加者数	3,730 人	5,913 人	1,071 人	271 人	220 人
会議・研修会等の開催回数	12 回	13 回	25 回	27 回	29 回

4 衛生費 1 保健衛生費 2 予防費

① 感染症対策費（健康推進課）

1 定期予防接種

予防接種法に基づく定期予防接種を実施した。

A類予防接種：BCG、不活化ポリオ、麻しん、風しん、H i b 感染症、小児の肺炎球菌感染症  
ジフテリア、破傷風、百日せき、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症  
水痘

B類予防接種：高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症

(1) 集団接種

種 別	対 象	通 知 者 数	実 施 実 人 数	接 種 率
BCG	平成25年10月1日～ 平成26年9月30日生	457 人	468 人	102.4 %

## (2) 個別接種

種 類	通 知 対 象 者 等	対象者数	接種者数	接 種 率
BCG	—	—	5 人	集団接種再掲
急性灰白髄炎 (不活化ポリオ)	新たな通知は行わなかった。	—	199 人	—
Hib感染症	平成26年1月1日～平成26年12月31日生	延べ1,768 人	1,769 人	100.0%
小児の肺炎球菌 感染症	平成26年1月1日～平成26年12月31日生	延べ1,768 人	1,759 人	99.5%
四種混合※	平成26年1月1日～平成26年12月31日生	延べ1,344 人	1,727 人	128.5%
三種混合※	新たな通知は行わなかった。	—	91 人	—
ジフテリア 破傷風	平成14年4月2日生～平成15年4月1日生	533 人	373 人	70.0%
麻疹風しん 第1期	平成25年4月1日生～平成26年3月31日生	484 人	456 人	94.2%
水 痘※	平成23年10月2日生～平成26年3月31日生	延べ2,063 人	919 人	44.5%
麻疹風しん 第2期	平成20年4月2日生～平成21年4月1日生	488 人	482 人	98.8%
日本脳炎第1期	平成22年4月2日生～平成23年4月1日生	延べ1,470 人	1,318 人	89.7%
日本脳炎特例1期	平成18年4月2日生～平成19年4月1日生	—	330 人	—
日本脳炎第2期	平成8年4月2日生～平成9年4月1日生	—	149 人	—
ヒトパピローマ ウイルス感染症	平成25年6月から積極的勧奨を行っていない。	—	1 人	—
高齢者 インフルエンザ	65歳以上の方	14,028 人	6,754 人	48.1%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方	48 人	10 人	
高齢者 肺炎球菌感染症 ※	65, 70, 75, 80, 85, 90, 95, 100歳及び101歳以上の方	3,182人	1,539 人	48.4%
	60～64歳で身体障害者手帳内部疾患1級相当の方		2 人	

※ 平成26年10月から水痘の予防接種が定期A類予防接種となり、平成27年3月31日まで特例として3～5歳未満児にも接種した。

※ 三種混合とは、ジフテリア・百日せき・破傷風混合予防接種をいう。

※ 四種混合とは、ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風混合予防接種をいう。

※ 平成26年10月から高齢者肺炎球菌感染症予防接種が定期B類予防接種となった。

(3) 委託医療機関以外で接種する必要がある人の対応

平成25年度から長期里帰りなどにより委託医療機関で予防接種が受けられない場合に、個別に契約し、定期接種できるよう対応している。

15人（実人数）

42人（延べ人数）

(4) 長期療養が必要な特定疾病に係る特例措置

平成25年2月から長期療養が必要な特定疾病のために定期予防接種の機会を逸した人に対する定期予防接種を行った。

麻疹風しん第1期予防接種 1件

不活化ポリオ 1件

(5) 高度専門的予防接種

専門的予防接種が困難と判断された専門的医学的管理が必要な方に対して、京都府公立大学法人の病院において接種を実施した。

Hib感染症予防接種 1件

2 風しん予防接種助成事業

先天性風しん症候群の発生を防止し、安心して妊娠・出産できる環境づくりを進めるために、風しん予防接種の接種費用の一部を助成した。

助成対象

妊娠を希望する女性で抗体検査等により抗体価が低い者又は抗体価が低い妊婦と同居している抗体価が低い者が、風しん又は麻疹風しんの予防接種を受けた場合

助成者数 42人（女性 38人、男性 4人）

3 結核検診

65歳以上の市民を対象に定期健康診断として胸部エックス線検査（間接撮影）を肺がん検診と同時に市内10会場（6日間）で実施した。

実施回数	受診者数	要精検者数	精 検 結 果				未 受 診
			異常なし	結核	肺がん	その他	
12回	943人	15人	11人	0人	0人	4人	0人

## 4 衛生費 1 保健衛生費 3 成人保健費

### ① 成人保健事業費（健康推進課）

生活習慣病を予防するために各種健康診査を実施するとともに、がんを早期発見し早期治療に結びつけるために、各種がん検診を実施した。

#### 1 健康診査事業

##### (1) 30歳代の健康診査

「自分の身体に適した生活習慣となっているか」を確認し、健診結果を活用して生涯にわたって自覚的に健康づくりが進められるよう、30歳代の市民を対象とした健康診査を、保健センターで3日間実施した。

##### ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧測定、脈拍測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）

イ 受診者数 380人

##### (2) 健康増進法による健康診査

生活保護を受給されている方など特定健康診査を受ける機会がない市民に対して、7月7日から10月31日までの間、個別医療機関において健康診査を実施した。

##### ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重、腹囲）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、必要者には心電図

##### イ 受診状況

	受診者数
生活保護受給者	57 人
国保異動者 (国保会計負担)	55 人

##### (3) 長寿(後期高齢者)健康診査

後期高齢者医療対象者について、個別医療機関において、7月7日から10月31日までの間、健康診査を実施した。

ア 検査項目

問診、身体測定（身長、体重）、理学的検査、血圧測定、検尿（蛋白、糖）、血液検査（赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値、GOT、GPT、γ-GTP、LDLコレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、尿酸、クレアチニン、血糖、ヘモグロビンA1c）、心電図

イ 受診者数 2,581人

2 がん検診事業など

(1) 胃がん検診

40歳以上の市民を対象に、保健センターにおいて11日間実施した。受診率を向上させるため、平成21年度から午後の胃がん検診を開始し、また、乳がん検診と同時に受診できる枠を設けるなどの工夫をした。全日、大腸がん検診とも同時実施している。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	胃がん	他病	不明	
830人	790人	40人	4.8%	4人	1人	34人	0人	1人

(2) 子宮がん検診

ア 子宮頸がん検診

(ア) 西暦で奇数年（和暦で昭和は偶数年、平成は奇数年）生まれの20歳以上の女性を対象に、4月から翌年2月末までの11か月間、委託医療機関において実施した。（実績には無料クーポン検診の受診者も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	子宮がん	異形成	他病	不明	
1,622	1,591人	31人	1.9%	7人	0人	8人	0人	1人	15人

(イ) 子宮がん無料クーポン検診

20歳及び平成21～24年度無料クーポン対象者のうち未受診だった方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「無料クーポン券付き子宮頸がん検診受診票」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
4,380人	813人	18.6%

※受診者数はアに再掲

イ 子宮体がん検診

子宮頸がん検診の受診者のうち、ハイリスク者及び医師が必要と認める方を対象に実施した。

受診者数	異常なし	判定不能	要精検者数	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
					異常なし	子宮体がん	他病	不明	
203人	191人	7人	5人	2.5%	3人	0人	0人	0人	2人

(3) 乳がん検診

ア 医師による視触診とマンモグラフィ撮影（乳房専用レントゲン撮影）により、40歳以上の西暦で奇数年生まれの女性を対象に、保健センターにおいて17日間実施した。

また、保健師による「自己検診法」の健康教育と「私の健康記録」の配布を同時に行った。

（実績及び検診日数には、がん検診推進事業も含む。）

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果								精検未受診
				異常なし	乳がん	乳がんの疑い	線維腺腫	のう胞症	乳腺症	その他の疾患	判定不能	
1,156人	1,062人	94人	8.1%	18人	2人	0人	16人	21人	27人	4人	1人	5人

イ 乳がん無料クーポン検診

40歳及び平成21～24年度無料クーポン対象者のうち未受診だった方を対象に「女性のためのがん検診手帳」と「乳がん検診無料クーポン券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
4,655 人	488 人	10.5 %

※受診者数はアに再掲

(4) 肺がん検診

40歳以上の市民を対象に、結核検診と同時に市内10会場（6日間）で実施した。また、65歳以上の受診者には同時に結核検診も行った。

受診者数	異常なし	経過観察	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精検未受診
					異常なし	肺がん	肺がんの疑い	他病	不明	
1,292人	1,138人	110人	44人	3.4%	22人	0人	2人	19人	0人	1人

必要者には、喀痰細胞診検査も行った。

対象者数	受検者数
37人	37人

(5) 大腸がん検診

40歳以上の市民を対象に、問診及び便潜血検査（免疫便潜血二日法）による検診を実施した。

保健センターにおける集団方式は、胃がん検診、乳がん検診と同時に15日間行った。個別方式は、乙訓大腸がん検診委託医療機関において、7月7日から10月31日までの間実施した。



ア 集団方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
343 人	325 人	18 人	5.2 %	4 人	0 人	11 人	0 人	3 人

イ 個別方式

受診者数	便潜血陰性	要精検者数 (便潜血陽性)	要精検率	精 検 結 果				精検未受診
				異常なし	大腸がん	他 病	不 明	
3,948 人	3,682 人	266 人	6.7 %	43 人	12 人	123 人	1 人	87 人

ウ 大腸がん無料クーポン検診

40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の対象者に「大腸がん検診手帳」と「大腸がん検診無料クーポン付き受診券」を送付した。

通知対象者数	受診者数	受診率
3,886 人	438 人	11.3 %

※受診者数はア、イに再掲

(6) 前立腺がん検診

55歳以上の男性を対象に、乙訓前立腺がん検診委託医療機関で、7月7日から10月31日までの間、PSA値測定（前立腺特異抗原検査）を実施した。（ ）内は、向日市国民健康保険による保健事業として実施した再掲人数である。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精 検 結 果					精 検 未 受 診
				異常なし	が ん	肥大	他病	不明	
2,114 人 (1,162 人)	1,970 人	144 人	6.8 %	16 人	9 人	64 人	1 人	0 人	54 人

(7) 肝炎ウイルス検診

40歳の節目に当たる方を対象として、乙訓肝炎ウイルス検診委託医療機関で、7月7日から10月31日までの間、C型及びB型肝炎ウイルス検診を実施した。対象者に通知を行った。

	受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検受診者
C 型	196 人	196 人	0 人	0 %	0 人
B 型	196 人	196 人	0 人	0 %	0 人

(8) 胃がんリスク検診（平成26年度主要事業）

60歳の節目に当たる方を対象として、乙訓胃がんリスク検診委託医療機関で、7月7日から10月31日までの間、ピロリ菌抗体検査及びペプシノゲン検査を実施した。対象者には通知を行った。

受診者数	異常なし	要精検者数	要精検率	精検結果			精 検 未 受 診
				異常なし	胃がん	その他	
77人	54人	23人	29.9%	0人	0人	15人	8人

### 3 健康教育

#### (1) ヘルスセミナー（隠れ糖尿病編）

血糖値・HbA1c 高値者のための実践講座として、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。また、自分の食事を振り返るための調理実習も行った。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
2 回	36 人	71 人

#### (2) ヘルスセミナー（減るしお編）

高血圧を改善するため、自分の体の状態に適した食生活改善を目指す健康教室を実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
2 回	13 人	23 人

#### (3) 健脚講座

ウォーキングの基礎を学ぶ教室を1クール4回、4クール実施した。ノルディックウォークの体験も実施した。

実施回数	参加実人員	延べ参加者数
16 回	74 人	269 人

#### (4) 健康づくり出前講座

おおむね10人以上の向日市民で構成する団体やグループに保健師や管理栄養士が出向き、健康づくり講座を実施した。8種類のテーマから選択してもらい、各団体の希望に添って行った。

実施団体数	延べ実施回数	延べ参加者数
15 団体	41 回	452 人

#### (5) 歯のひろば

市民を対象に、京都府乙訓歯科医師会との共催で実施した。

ア 内 容 歯科医師による歯科健診・歯科相談、歯科衛生士によるブラッシング指導、体験コーナー（口臭チェック、咬合力テスト）、骨強度測定、血管年齢測定、健康教育（パネル展示）を実施した。食育コーナーを設け、食育に関する啓発活動を行った。

イ 実 施 日 6月14日（土）

ウ 来所者数 224人

#### 4 健康相談

##### (1) 健康診査結果相談会

特定健康診査等の受診後に、健診結果を活用した生活習慣改善を支援するため、保健センターにおいて、保健師、管理栄養士による個別相談を実施した。市が行う健診以外の受診者も対象とし、必要に応じて健康手帳やパンフレットを配布した。

##### ア 健康診査結果相談会

実施回数	参加者数	栄養相談	健康相談
6回	49人	27人	40人

イ 30歳代の健康診査結果説明会(指定日が都合のつかない人には、別の日に個別で実施した。)

実施回数	参加者数
3回	153人

(2) 各種健(検)診等あらゆる機会を捉えて、血圧測定、食事指導・生活指導等の健康相談を実施した。

実施回数	参加者数
57回	2,998人

#### 5 訪問指導

保健師、看護師、管理栄養士による訪問指導を実施した。がん検診や各種健診後の要指導者に対する訪問を行った。

29人

#### 6 健康手帳の配布

市民の自覚的な健康づくりに役立ててもらえるよう、各種健(検)診の記録や正しい食生活に関する資料、身近な健康づくり情報を盛り込んだ「私の健康記録」を作成し配布した。

配布数：628冊

#### 7 その他の健康づくり

##### チャレンジウォーク

市民の自主的な健康づくりを応援するため、平成15年度から実施している。いつでも、誰でも気軽に始められるウォーキングに継続的に取り組めるよう「ウォーキングパスポート」を配布した。

新規登録者 : 29人  
延べ認定者数 : 88人

#### 4 衛生費 1 保健衛生費 4 母子保健費

##### ① 母子保健事業費（健康推進課）

##### 1 母子健康手帳、妊婦健康診査公費負担受診券の交付及びマタニティマークの配布

母子健康手帳の交付と併せてマタニティマークの配布及び保健師、助産師による保健指導を実施した。

母子健康手帳交付件数 420人  
妊婦健康診査公費負担受診券交付件数 471人(うち 転入51人)

##### 2 乳幼児健康診査

乳児前期健康診査、乳児後期健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施した。

健診内容は、内科及び歯科健診（1歳6か月児、3歳児）による疾病のチェック及び発達観察、保健、栄養、歯科指導等であった。

3歳児健康診査では、視力検査、尿検査も実施している。

		実施回数	対象児数	受診児数	健康診査結果		
					異常なし	要精検 要注意	未実施
乳児前期健康診査		12回	454人	450人	255人	195人	0人
乳児後期健康診査		12	471	455	272	183	0
1歳6か月児 健康診査	一般	12	403	397	208	189	0
	歯科	12	403	397	340	57	0
3歳児健康診査	一般	12	501	465	244	221	0
	歯科	12	501	465	353	112	0
	視覚	12	501	465	434	27	4
	聴覚	12	501	465	464	1	0

##### 3歳児健康診査精密検査

項目	精密検査対象者		受診者	受診結果		
	人数	要精検率		異常なし	経過観察	要治療
耳鼻科	1人	0.2%	0人	0人	0人	0人
眼科	27	5.4	14	2	10	2
検尿	45	9.0	31	17	13	1
その他の所見	8	1.6	5	0	3	2

##### 3 妊婦健康診査

平成9年度から市が実施。平成20年度から回数を5回に拡充、平成21年度からは14回に拡充するとともに委託先を京都府医師会だけでなく、大阪府医師会及び京都府助産師会にも拡大した。平成23年1月からHTLV-1抗体検査を追加、平成23年4月からクラミジア検査を追加している。

受診者実人数 649人

(単位：人)

	受診者数	健診結果			
		異常なし	要指導	要精検	要医療
基本健診（1～14回） 問診、診察、体重及び血圧測定、尿検査、保健指導	4,602	4,375	91	12	124
前期血液検査（貧血、血糖）	405	385	9	1	10
血液型	400				
中期血液検査（貧血、血糖）	365	260	31	1	73
後期血液検査（貧血）	314	233	30	0	51
血液検査（免疫検査）	405	392	12	0	1
B群溶血性レンサ球菌検査	333	319	9	0	5
H I V抗体価検査	402				
超音波検査（1～4回）	1,487	1,450	14	1	22
H T L V - 1抗体検査	418	416	1	0	1
クラミジア検査	376	369	4	0	3

	受診者数	異常なし	要精検	他の疾患
子宮頸がん検査（細胞診）	393	388	4	1

## ○ 妊婦健康診査助成制度

平成20年度から、委託医療機関以外の産婦人科で妊婦健康診査を受診した人に助成金を交付している。

助成人数 42人（実人数）

内訳 平成25年度健診分 延べ16人

平成26年度健診分 延べ33人

## 4 健康教育

## (1) プレママスクール

妊婦（配偶者も含む。）を対象に、保健師、助産師、看護師、栄養士による教室を実施した。

実施回数	対象者数	受講者数	延べ受講者数
20回 (全4回、5回クール)	461人 うち初妊婦247人	92人 受講率19.9%	233人 うち初妊婦162人 うち配偶者 6人

※ 調理実習では、向日市食生活改善推進員協議会の協力を得て実施した。

## (2) 離乳食教室

離乳食の必要性や実際の与え方、進め方等について、講話や試食を実施した。

実施回数	対象	対象者数	受講者数	受講率
11回	生後6～7か月児の保護者	409人	210人	51.2%

(3) たんぽぽくらぶ

発達情緒面に援助を必要とする児を対象に、児童心理の専門家、保健師、子育てセンター保育士でグループ指導を実施した。

	回数	来所児数	同伴兄弟	保護者数	結果（実数）	
					ポニーの学校・こらぼ ねっとへ紹介	発達相談・ことばの 相談等で継続
前期	6回	59人	5人	59人	2人	10人
後期	6	86	7	82	3	12

(4) 歯の健康教室

2歳6か月児とその保護者を対象に、乳歯の虫歯予防のみならず、歯と口腔の健康のために、歯科健診、ブラッシング指導に加えて栄養士による食生活指導を実施した。

○ 2歳6か月児歯の健康教室

実施回数	対象児数	来所児数	来所率	1回平均来所児数
5回	443人	348人	78.6%	69.6人

○ 歯科健診結果

虫歯保有者	虫歯保有率	総虫歯本数
10人	2.9%	27本

(5) 2歳児教室

主に1歳6か月児健康診査で精神発達面の援助を必要とする児を対象に、フォロー教室を実施した。

実施回数	対象者数	来所児数	参加率
6回	78人	68人	87.2%

(6) リフレの会（リフレッシュ教室のOB会）

子育てに悩みや不安を抱えたり、ストレスが高い母親を対象にした講座終了者のOB会を実施した。

実施回数	来所者数
2回	27人

(7) ブックスタート

平成23年8月から乳児後期健診時に絵本の読み聞かせを実施し、ブックスタートパック（絵本2冊、コットンバッグ、図書館や絵本、子育て支援情報等のリーフレット）を配布した。

実施回数	来所者数	配布数
12回	447人	894冊

## 5 健康相談

### (1) 健康相談、栄養相談

実施回数	来 所 児 数			1回平均 来所児数
	乳 児	幼 児	計	
20回	438人	342人	780人	39.0人

### (2) 発達相談、ことばの相談

発達相談は昭和43年から、ことばの相談は昭和51年から開設し、家庭訪問、健診、相談等から発見された児童の事後指導として実施した。

	相 談 回 数	へ来 実 所 人 児 数 ）数	へ来 延 所 べ 人 児 数 ）数	相談結果				他機関への紹介			
				継 続	助 言 に よ り 改 善	正 常 ・ 改 善	就 学	ポ ニ ー の 学 校 へ	教 こ と ば 室 ・ き こ へ え	医 療 機 関 へ	発 達 相 談
発 達 相 談	回 114	人 131	人 168	人 96	人 10	人 0	人 25	人 16	人 0	人 3	人 0
こ と ば の 相 談	12	13	25	1	3	1	2	0	0	0	6

## 6 家庭訪問

保健師、助産師による乳幼児等の訪問指導を実施した。未熟児訪問は、平成25年度より開始  
家庭訪問数 (単位：人)

産 婦	新生児	乳 児
414	2	416

(再掲)

- 里帰り訪問事業 延べ人数 7人
- 乳児家庭全戸訪問事業 延べ人数 411人(双子 4組)  
(うち未熟児延べ人数 40人)

7 養育支援家庭訪問事業

養育支援の必要な家庭に対し、保健師・助産師、家庭児童相談室の相談員等が家庭訪問を行い、養育に関する相談、指導、助言その他必要な支援を行った。

	保健師・助産師		家庭児童相談室 相談員等		(単位：人)
訪問数	131		130		
(再掲)	妊婦	6	乳幼児	57	
	産婦	4	児童	73	
	乳幼児	121			

8 乙訓ポニーの学校通園児数

家庭訪問、健康診査、発達相談、ことばの相談等で発見された発達の様々な面で療育を必要とする子どもの通園状況は次のとおりである。

	新規通園児数		小 計	継続通園児数		小 計	合 計	
4月	週1回	4人	4人	週1回	19人	19人	週1回	23人
	月1回	0		月1回	0		月1回	0
7月	週1回	4	4	週1回	23	23	週1回	27
	月1回	0		月1回	0		月1回	0
10月	週1回	1	1	週1回	26	27	週1回	27
	月1回	0		月1回	1		月1回	1
1月	週1回	1	1	週1回	27	28	週1回	28
	月1回	0		月1回	1		月1回	1

9 不妊治療助成事業

不妊治療の経済的負担を軽減するため、向日市不妊治療助成事業実施要綱に基づき、平成15年10月1日から実施している。平成23年4月から人工授精による治療も助成対象とするとともに、助成額の拡充を図った。(保険適応のみの場合は6万円。人工授精を含む場合は10万円)平成26年10月1日から男性不妊治療及び不育症治療等による治療も助成対象とし、助成額の拡充を図った。

助成者数	85人(実人数)		
内訳	一般不妊治療助成者数	延べ96人(うち人工授精による治療助成者数27人)	
	不育症治療等助成者数	延べ1人	
	男性不妊治療助成者数	0人	

② 養育医療給付事業費(医療保険課)

母子保健法第20条の規定により、身体の発育が未熟なまま出生し、医師が指定医療機関への入院養育が必要と認めた乳児に対し、入院医療費等の給付を行った。

年間受給認定者数	延べ受診件数	支給額
9人	45件	3,908,247円



#### 4 衛生費 1 保健衛生費 5 健康増進施設費

##### ① 健康増進施設管理運営費（健康推進課）

市民の主体的な健康づくりと介護予防を推進するため、平成15年5月に向日市健康増進センターを開設した。平成18年度から指定管理者制度を導入し、向日市健康増進センターと向日市民温水プールを一体的に管理しており、平成23年度から5年間の指定管理者に（株）オージースポーツを指定している。

指定管理料 : 30,870,000円

##### 1 市民温水プール利用状況

###### (1) 利用者数（年間延べ利用者数）

1.5時間までの利用者数	75,692 人	（月平均	6,308 人）
1.5時間以上の利用者数（8月は除く）	4,802 人	（月平均	437 人）
無料券及びピロティ利用者数	3,004 人	（月平均	250 人）
水中ウォーキング（8月は除く）	266 人	（月平均	24 人）
スイミングスクール利用者数（8月は休講）	47,868 人	（月平均	4,352 人）
市民温水プール利用者数合計	131,632 人		

(2) 営業日数 315 日

##### 2 健康増進センター利用状況

###### (1) 利用者数（年間延べ利用者数）

定期利用会員	155,546 人	（月平均	12,962人）
うち市内	81,658人		（52.5%）
都度利用者	6,192 人	（月平均	516人）
うち市内	2,027人		（32.7%）
健康増進センター利用者数合計	161,738 人	（月平均	13,478人）
うち市内	83,685人		（51.7%）

(2) 営業日数 333 日

#### 4 衛生費 1 保健衛生費 6 環境衛生費

##### ① 環境政策事業費（環境政策課）

市民の理解と協力により、暮らしの周辺の環境美化対策を推進し、清潔で美しいまちづくりに努めた。

##### 1 新環境基本計画の推進

本市の総合的な環境施策の方向性等を示す「新向日市環境基本計画」に基づき、環境保全施策を推進した。

(1) ごみゼロ・向日市一斉クリーン作戦

ごみのないきれいなまちを目指して、市民、団体、事業所、市などが一体となって「ごみ拾い・清掃」を実施した。

開催日	平成26年5月25日（日）	平成26年11月23日（日）
参加人数/団体数	約3,900人/109団体	約2,800人/89団体

(2) 環境保全啓発事業の推進

- ・環境月間 平成26年6月1日（日）～30日（月）
- ・環境月間事業 河川水質調査、大気汚染調査
- ・環境市民講座
  - 「グリーンカーテン講習会」 平成26年4月24日（木）、5月8日（木）
  - 「知って快適夏の省エネ節電術」 平成26年7月23日（水）
  - 「ふろしきでエコラッピング」 平成26年11月19日（水）
  - 「地球温暖化について考えよう」 平成27年2月20日（金）

2 狂犬病予防対策の実施

狂犬病予防法に基づき、犬の登録及び狂犬病予防注射を実施した。

狂犬病予防集合注射期間 平成26年4月16日（水）～18日（金） 204頭（集合注射実施頭数）  
予防注射頭数 1,689頭

3 ふん害対策の実施

マナーの向上を呼びかける看板の設置、配布等を行った。

4 蜂駆除用防護服の貸出支援

個人で蜂を駆除される場合に安全に作業を行っていただくため、蜂防護服を貸し出した。

（貸出件数 10件）

5 空き地雑草除去対策

空き地の管理についての指導及び環境美化対策の啓発等を積極的に推進した。

（指導件数 19件）

6 不法投棄対策

- (1) 環境整備員による日々の分別ステーション及び付近の巡回パトロールを実施した（通年。平日の午後）。

(2) まち美化推進活動事業（緊急雇用創出事業）の実施（平成26年度主要事業）

平成26年4月に「向日市のまちを美しくする条例」が施行されたことを受け、清潔で美しいまちづくりのため、ポイ捨てや犬のふんの放置の抑制に努めた。

市内清掃活動のほか、不法投棄やポイ捨て、犬のふんの放置を防止する啓発活動、看板の設置等、清掃パトロール事業を（公社）向日市シルバー人材センターに委託し、快適で住みよい生活環境の保全のため、モラルとマナーの向上を図った。

清掃パトロール

ア 実施日数 延べ194日

イ 対象地域 市内一円

ウ 実施期間 平成26年6月～平成27年3月

(3) 立看板の設置等による啓発を行った。

7 ごみの減量と再資源化の推進

ごみの減量と資源の再利用を促進するため、次の事業を実施した。

(1) リサイクル「ひまわり市」の開催

家庭から出る不用品の再使用を図るため、フリーマーケットを開催した。

ア 開催日 5月17日（土）、10月4日（土）

イ 出店数 49店（5月） 42店（11月）

ウ 来場者数 約1,500人（5月） 約1,200人（11月）

(2) 生ごみ堆肥化容器購入費補助

ごみの減量と有効利用を図るため、生ごみ堆肥化容器を購入し設置する者に対して、購入費の一部を補助した。

年 度	26	25	24	23	22
補助世帯数	2件	9件	1件	6件	6件
補助金交付総額	12,800円	53,100円	10,000円	33,000円	44,500円

(3) 紙パックリサイクル事業の推進

ア 目 的 ごみの減量及び資源の有効利用を図る。

イ 回収量 約1.9t

ウ 回収場所 20か所

(4) 廃食油回収活動支援事業の推進

廃食油回収活動を奨励し、ごみの減量を図るため、回収団体に対し、回収用容器及びのぼり旗を無償貸与した。平成26年度は11団体で合計2,515.0リットルを回収した。

8 環境汚染の状況

(1) 公害苦情件数・推移

(単位：件)

種 別 \ 年 度	26	25	24	23	22
大 気 汚 染	2	5	2	2	5
水 質 汚 濁	2	0	0	4	3
騒 音	3	7	10	4	6
振 動	0	0	0	0	0
悪 臭	2	4	3	3	5
そ の 他	2	5	9	3	7
計	11	21	24	16	26

(2) 光化学反応（光化学スモッグ）による大気汚染対策

注意報発令時緊急体制期間 平成26年5月1日（木）～9月30日（火）

注意報発令件数（乙訓地域） 1件

9 関係法令及び府条例に基づく特定施設等届出状況

(1) 騒音関係

(単位：件)

種 別 \ 年 度	26	25
騒音規制法に基づく特定建設作業実施届出数	32	19
騒音規制法に基づく特定施設設置事業所数	44	44
騒音規制法に基づく特定施設数	329	334
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	74	64
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	600	497

(2) 振動関係

(単位：件)

種 別 \ 年 度	26	25
振動規制法に基づく特定建設作業実施届出数	10	10
振動規制法に基づく特定施設設置事業所数	40	40
振動規制法に基づく特定施設数	271	274
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設設置事業所数	38	31
京都府環境を守り育てる条例に基づく特定施設数	219	171

10 調査・測定の実施状況

(1) 騒音・振動関係

ア 環境騒音実態調査（24時間測定）

(ア) 一般地域（道路に面する地域以外の地域）

平成26年11月11日（火）～12日（水） 2地点

平成26年11月13日（木）～14日（金） 2地点

平成26年12月18日（木）～19日（金） 2地点

(イ) 道路に面する地域（自動車騒音常時監視）

平成26年12月18日（木）～19日（金） 4地点

イ 新幹線鉄道騒音等監視測定

平成26年10月21日（火）、27日（月）、28日（火）に京都府、2市1町合同で測定した。  
なお、市内測定は10月21日（火）に2地点で実施した。

(2) 大気汚染関係

市内主要箇所における一酸化炭素、一酸化窒素、二酸化窒素濃度調査  
住宅地域、商業地域、幹線道路沿線等

平成26年6月25日（水）・6月27日（金） 午後0時30分～8時30分 合計6地点

(3) 水質汚濁関係

公共水域調査（河川、用水路）4河川／5地点

第1回 平成26年6月24日（火）

第2回 平成26年9月24日（水）

第3回 平成26年12月15日（月）

第4回 平成27年3月17日（火）

11 公衆浴場確保対策補助金

市民の保健衛生の向上のため、市内3か所の公衆浴場に対し1件9万円の補助金を交付した。

4 衛生費 2 清掃費 1 清掃総務費

② 乙訓環境衛生組合費（環境政策課）

乙訓環境衛生組合の運営経費について、応分の負担をした。

4 衛生費 2 清掃費 2 塵芥処理費

① 塵芥収集費（環境政策課）

本市においては、市民一人1日あたり約560gのごみが、一般家庭から排出された。

これらのごみの収集は、可燃物を週2回、資源物（分別収集）月2回、粗大ごみや不燃物は随時実施し、市民の協力により、ごみの減量及び適正処理に努めた。（収集量：乙訓環境衛生組合統計）

1 ごみ等収集量

(1) 一般家庭ごみ

種 別	収集量（t）
可 燃 物	10,120.4
分 別 収 集	854.4
不 燃 物	61.5
粗 大 ご み	101.2
合 計	11,137.5

(2) 事業系ごみ

種 別	収 集 量（t）
可 燃 物	3,298.7
分 別 収 集	0.0
不 燃 物	0.0
粗 大 ご み	138.4
合 計	3,437.1

○有料ごみ

処 理 件 数	2,826件
手 数 料 総 額	5,265,000円

## 2 分別収集量（内訳）

分 類	収 集 量 ( t )	割 合 ( % )
空 カ ン	101.4	11.9
空 ビ ン	308.3	36.1
そ の 他 不 燃	197.6	23.1
ペ ッ ト ボ ト ル	81.6	9.6
その他プラスチック	151.3	17.7
廃 乾 電 池	9.3	1.1
蛍 光 灯	4.8	0.6
合 計	854.4	100.0

※端数処理のため内訳と合計は一致しない。

## 3 ごみの出し方・分け方カレンダーの配布

ごみの減量化・再資源化、ごみの適正な出し方に関する啓発を行うことに加え、ごみ排出日をより分かりやすくするため、ごみの出し方・分け方カレンダーを作成し、約17,000部を各戸配布した。

## 4 分別収集適正排出指導の徹底

分別収集を円滑に、より効率的に行うため、収集日等が遵守されていないステーションにおいて、定期的な巡回パトロールや立看板の設置を行うとともに、広報による啓発を実施するなど、マナーの向上に努めた。

## 4 衛生費 2 清掃費 3 し尿処理費

### ① し尿収集費（環境政策課）

#### 1 し尿くみとり

市民生活の衛生及び環境保全を図るため、委託業者により、し尿収集を行った。

く み と り 戸 数	人頭制		116 戸	くみとり家屋件数 137件
	計量制	一般家庭	11 か所	
		事業所	10 か所	
		仮設トイレ	46 か所	
く み と り 量				390 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。

#### 2 浄化槽

設 置 数	133 基
浄化槽汚泥収集量	217 kℓ

※収集量：乙訓環境衛生組合統計による。